

# いきいき案内所ニュース

## 第46号 H30. 7. 30発行



発 社会福祉法人香川県社会福祉協議会  
 地域福祉課  
 高齢者いきいき案内所  
 行 〒760-0017 高松市番町 1-10-35  
 TEL087-861-0546  
<http://www.kagawaken-shakyo.or.jp>

### 平成30年度傾聴ボランティア養成講座 前期：多度津会場 ご報告

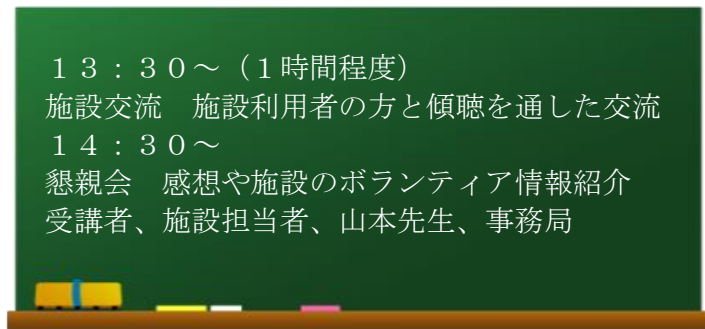
協力施設：特別養護老人ホーム紅山荘 7月3日（火）  
 特別養護老人ホーム仙遊荘 7月4日（水）  
 サービス付き高齢者向け住宅アゼリア今津 7月5日（木）・10日（火）  
 サービス付き高齢者向け住宅ゆんたく 7月6日（金）

#### 第1日目 講師：青井 恵子 氏（認定NPO法人グリーンワークかがわ）

内容①傾聴とは②傾聴の仕方、関わり方③傾聴ロールプレイ実習④認知症高齢者の理解・対応  
 ⑤グリーンケア

講義と実習をおりませながら、上記の内容について学びました。心身を統一して、その場にいるセンタリングでは、体の中心（丹田）に気を置くと力を加えられても体がぶれない実習を体験しました（右写真）。

相手の呼吸に合わず呼吸合わせの実習では、初めは相手の呼吸がなかなか読めず、とまどいながらも、じっくり相手の顔や体の浮き沈みを観察していくと、少しずつ呼吸を合わすことができました。呼吸合わせなどから相手と歩調を合わせていくことが、傾聴の関わり方の基本となり、相手に関心を持つことの重要性をしっかりと学びました。



#### 第2日目 講師：山本 隆夫 氏（さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」）

内容①傾聴ボランティアグループ活動を通して②傾聴ロールプレイ実習

傾聴ボランティア活動を行う講師から、話し手である利用者の方が傾聴活動を楽しみにされているということ、傾聴活動を続けていたからこそ、豊かな想像力と智恵を持った素晴らしい方々と出会えたことなどをお話いただき、傾聴活動から得られる素晴らしい経験を教えていただきました。また、時にはむずかしい場面に直面することもお話いただきましたが、傾聴活動の先輩として、受講者を励ましてくれました。グループワークでは、実際に、施設等での傾聴活動時に向き合う姿勢のハの字で実習を行いました。人と人が笑顔で話し、楽しいことを十分体感させてもらい、傾聴活動で話を聞いてもらうことは、気持ちの良いことであることを気づかされました。



特別養護老人ホーム紅山荘  
7月3日（火）



#### 第3日目 施設交流

集合後、各施設の歴史、特性や現在利用されている方の介護状況などについて、教えていただきました。

第1日目・第2日目で学んだ「えがお、うなづき、あいづち」を心がけ、職員の方に引き合わせていただいた利用者の方と傾聴の技術を意識しながら、交流しました。参加いただいた受講者の方からは、「たまたま趣味が同じ方とお話ができ、ご本人も満足された様子でしたが、知識の豊富さにこちらも大変勉強になりました」、「認知症が進行されている方で、質問に対する答えや、話の内容がかみ合わないことが多かったのですが、とても楽しそうにお話をされている姿にこちらも嬉しくなり、聴く姿勢の大切さを学ぶことができました」、「相手の方のお話から自分自身もこれから通る道と思い、勉強になりました」、「同じ時代を生きてきた世代同士で、会話が弾み、話す場が必要と感じました」などの感想をいただきました。

交流後、施設利用者様から施設の職員に次のお話会はいつ？という問い合わせや、自分の気持ちをしっかりと聴いてほしい要望があり、施設側からも利用者様の楽しそうな様子や、地域の方と施設をつなぐ活動の1つとして今後も継続したいとの声をいただきました。

今年度施設交流した受講者同士や修了生に声をかけて、施設や利用者様の望まれる1対1で居室や、ホールなど皆さんが集まる場でのお話や傾聴などを今後、定期的に行っていくこととなりました。

特別養護老人ホーム仙遊荘  
7月4日（水）



サービス付き高齢者向け住宅  
ゆんたく 7月6日（金）



サービス付き高齢者向け住宅  
アゼリア今津 7月5日（木）・10日（火）



# 平成30年度読み聞かせボランティア養成講座 課外授業編

中野保育所 6月19日(火)、20日(水)、25日(月)、26日(火)、27日(水)

アフタースクール香川 6月21日(木) よしいけこども園 6月22日(金)



養成講座修了後、希望者が、上記施設で、読み聞かせ会（1人1～2冊約7分の持ち時間 全体30分程度）を行いました。自身の子どもや孫へ読み聞かせを行った以来の方や、今回の講座で初めて読み聞かせをする方など、経験は様々ですが、講座で学んだことを活かし、2歳児から小学生の子供たちへの読み聞かせを楽しんでいただきました。参加の皆さまから、緊張しながらではあったが、絵本を読み始めると、読み手の気持ちが伝わったように、子供たちの一生懸命に聞く姿勢や、絵本に魅了されていく子供たちの様子に感動を覚えられたようでした。

今後、活動を希望される方には、グループ結成や個人の活動に結びつける会の開催を予定していますが、開催までは、個人で読み聞かせ練習や、多くの絵本に触れる機会を作ってください、活動内容などをじっくり考える時間にしていただきと思います。

ご参加いただいた皆様、お疲れさまでした。また、ご協力いただいた施設の皆様にも大変感謝申し上げます。

## 視覚障がい者

### 外出サポート講習会



平成30年6月30日(土)

13:30～15:30

琴平町社会福祉協議会及び

こんぴら参拝街道周辺

参加者 男性1名女性1名

講師 香川県視覚障害者福祉センター

中口 潤一 氏

天候を心配しての開催となりましたが、持ちこたえ、予定通り実施まで講習を行うことが出来ました。講義内容は、視覚障害の方の物の捉え方や、県内の視覚障害者の状況、7/8開催予定のこんぴら参拝参加の視覚障害の方の現在の視覚の程度の説明を受けてから、会場の琴平町社会福祉協議会の館内でアイマスクを着用し、見えない状況で、言葉少ない誘導でサポートされる不安などを体感したり、トイレ案内時などの留意事項を学びました。その後、屋外で、歩行時や、階段昇降時のサポートについて学びました。残念ながら、7/8のこんぴら参拝は、警報発令中のため、中止となってしまいましたが、8/5の福祉フェスタや、街で視覚障害のある方に出会った時に活かしていただきたいと思います。

## 高齢者いきいき案内所人材バンク登録者交流会

### 『きらりんぐ』開催報告



平成30年7月17日(火) 10:00～12:00

香川県社会福祉総合センター7階第2中会議室

参加者：男性2名女性24名

内容「発達障害の基礎知識」

講師：社会福祉法人香川こだま学園 副園長 高橋 伴子 氏

生後まもない時期の小さな気づきから、子どもの発達に関心を持ち、1つ1つの行動に丁寧に対応していく大人側の心の余裕が必要であるように思いました。子どもの一番の理解者である親が気持ちの余裕がなく、見えなくなっている時など、祖父母の立場にあたる年代の方からのアドバイスが、親たちへの気づきにつながることもあるように思いました。

読み聞かせ会では、事前にお話をいくつか読むなどの内容や終了時間などを目でみて分かる工夫（例えばイラストを書くなど）をすることで、子ども自身が理解をしてから参加をすることで、楽しく落ち着いたお話し会になるヒントをいただきました。

問題や課題と考えられていることでも、想像力を働かせながら、工夫を取り入れ、本人を取り巻く環境を整えたりしながら、伝えたり、試みていく必要があると分かりました。様々な障害への知識を増やすことで、自分自身に理解ある行動が生まれ、住みやすい社会を担う一員になれることに気づかされたようでした。

## 高齢者いきいき案内所人材バンク登録者交流会

### 『きらりんぐ』全体会ご案内

何か活動をお探しの方、

様々なボランティアと交流をお考えの施設職員の方、

活動中の方は自己研磨として、参加しませんか！

日 時：平成30年8月20日(月) 10:00～15:30

会場：香川県社会福祉総合センター7階 第1中会議室

内容：午前の部『知っているようで知らないしめかざりの世界

～絵本「しめかざり」作者を迎えて～』

講師 しめかざり研究家 森 須磨子 氏

午後の部『人と人が繋がる場づくり～コミュニケーション

ゲームのすすめ～』

講師 脳若トレーニングキラメキデイ主任コミュニケーター

石原 誠吾 氏

対象者：高齢者いきいき案内所人材バンク登録者及び団体

参加費：無料 定員 各部それぞれ50名程度

参加締切日：平成30年8月10日(金)

お問い合わせ：香川県社会福祉協議会 地域福祉課 平池・石田

☎087(861)0546/FAX087-861-2664

### 編集後記

連日猛暑が続いていますが、熱中症予防対策を充分にとっていますか。

年齢が高くなるにつれて、気温の高さなどを感じにくくなっています。室内で暑く感じないからとエアコンや扇風機を使用せずにいる方が多いですが、熱中症の発生場所は居住が多く、自立して生活している高齢者層が、特に注意が必要と言われています。また、気温の高い日の外出はなるべく避けたり、時間帯を考慮する事も大切です。まだまだ、厳しい暑さが続きますので、こまめな水分補給や涼しい服装など環境を整えながら、この夏を乗り切りましょう。(平池)